



地域の絆、60周年の歩みを祝して

滝川市長 前田 康吉

滝川市社会福祉協議会が、ここに創立60周年という記念すべき年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げますとともに、歴代会長をはじめ役員、会員の皆様方が、社会福祉の向上のため長年にわたりご貢献いただきましたことに深甚なる敬意と感謝を表します。

滝川市社会福祉協議会は、戦後の混乱が終息へと向かい、社会福祉事業の再編が進められた昭和26年7月に、福祉活動への住民参加と共同募金運動を地域で支える民間組織の強化のため、民生委員や保護司の皆様を中心に、社会福祉事業団体の中核的な組織として設立されたのが始まりであると伺っております。以来、地域の福祉活動の担い手として、市民生活の安定と市勢発展のために多大なご貢献をいただきました。

現在、少子高齢化の急速な進展や措置制度から利用契約制度への移行など、社会福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。これに伴い、市民の福祉ニーズは多様化し、福祉サービスの提供主体も社会福祉法人や民間企業等、多様なものとなっています。このような中で、滝川市社会福祉協議会に期待される役割は益々広範囲となり、より良いサービスの提供はもちろんのこと、サービスの提供主体相互をつなぐ団体としての存在意義も高まっています。

滝川市は、少子・高齢化など急速に変化する社会環境のもと、「子育て・子育て・子育て」を充実し、安心して子どもを産み育てられるまち」「健康寿命を伸ばし、高齢者の知恵が生きる生涯現役社会と障がいのある人の社会参加」を目指して様々な施策を進めています。

今後とも、市民の皆様から信頼され、期待され、愛される「社協」を目指し、滝川市と滝川市社会福祉協議会が車の両輪として地域福祉の推進に努め、滝川市の福祉がより一層向上することを期待しています。

結びにあたり、滝川市社会福祉協議会の今後益々のご発展を心からご祈念申し上げ、創立60周年にあたってのお祝いの言葉といたします。

